

機能等要件一覧	業務名称
	申請書等作成支援端末

様式第 3 号

下記の項目について、対応の可否をお示しください。
 対応可:標準機能で対応可能
 対応不可:対応方法が無いもの
 代替方法:標準ではないが代替方法が提案可能。なお、有償となる場合は金額を提示すること(提案内容により割合で配点)
 なお、必須項目は全て対応可能であることを提案要件とし、標準機能で対応できない場合は、必ず代替方法を提示すること。

配点割合
将来性
必須
要望

配点
高
中
低

項番	業務	機能	機能説明	区分	対応可	対応不可	代替方法
1	申請書作成支援	基本	市民及び職員が操作できる仕様になっていること。	必須			
2	申請書作成支援	基本	市役所の各窓口及び記載台での利用を想定し、スタンドアローンで設置が可能なこと。	必須			
3	申請書作成支援	基本	誰にとっても分かりやすく、利用しやすいユニバーサルなデザイン及び操作性であること。	必須			
4	申請書作成支援	基本	カウンター上に設置することを想定し概ね幅 300 mm×奥行 300 mm以内に納めること。 代替方法欄に導入機器の外寸(縦横高さ)をご記載ください。	必須			
5-1	申請書作成支援	基本	専用のタッチ申請端末を利用する場合は、着席して対面で使用することを想定し、申請者側、受付者側双方で操作同じ画面を操作可能な2画面を備えること。(5-2といずれか一方回答)	必須			
5-2	申請書作成支援	基本	タブレットPCを用いる場合は、画面サイズ15.7インチ以上、キーボードは使用せず、クレードルに接続して申請書の作成を可能とする機能を備えること。マイナンバーカード等のカード券面、二次元コードを読み取る機能を備えること。(5-1といずれか一方回答)。	必須			
6	申請書作成支援	操作画面	住民が利用する際には、タッチパネルで操作ができること。	必須			
7	申請書作成支援	操作画面	案内画面にて、日本語及び英語での表示が可能なこと。	必須			
8	申請書作成支援	操作画面	案内画面にて、英語以外での外国語表記が可能なこと。	要望			
9	申請書作成支援	操作画面	トップ画面で主たる手続きの項目を表示し、市民の選択結果によって、行いたい手続きの詳細画面に遷移すること。(住民異動関連・マイナンバーカード関連・証明書発行関連)	要望			
10	申請書作成支援	入力	マイナンバーカードのICチップ又は券面事項から読み取った情報(氏名・住所・生年月日・性別)を申請書に自動入力できること。OCR等による読み取りも可とする。	必須			
11	申請書作成支援	入力	マイナンバーカードや運転免許証を読み取る際、暗証番号の入力を介さないこと。	要望			
12	申請書作成支援	入力	運転免許証のICチップ又は券面事項から読み取った情報(氏名・住所・生年月日・性別)を申請書に自動入力できること。OCR等による読み取りも可とする。	必須			
13	申請書作成支援	入力	在留カードの情報(氏名・住所・生年月日・性別)を読み取り、申請書に自動入力できること。OCR等による読み取りも可とする。	要望			
14	申請書作成支援	入力	カード等が無くても直接必要事項を入力でき申請書を出力できること。	要望			
15	申請書作成支援	入力	申請日は申請日(届出日)が自動で入力されること。	要望			
16	申請書作成支援	入力	申請書事前登録サービス等によって発行した2次元コードを読み取り、申請書を出力できること。	要望			
17	申請書作成支援	帳票印刷	申請書をプリンターへ出力する機能を有すること。	必須			
18	申請書作成支援	帳票印刷	一回の操作で複数の申請書や届出書を選択し、一括で印刷が可能であること	必須			
19	申請書作成支援	帳票印刷	複数種類の申請書をまとめて印刷できること。	必須			
20	申請書作成支援	帳票設定	帳票数が20帳票以上登録可能であること。 帳票以上登録が可能な場合、登録可能帳票数の最大値を代替方法に記載すること。	必須			
21	申請書作成支援	帳票設定	各種申請書について、本市の指示する様式に合わせて申請内容を印字し、印刷できること。	必須			
22	申請書作成支援	帳票設定	申請書様式の登録、変更を本市が直接できること。	要望			
23	申請書作成支援	集計機能	申請書の出力件数(システム利用件数)を測定するため、データの出力が可能であること。	要望			
24	申請書作成支援	集計機能	住民がシステムを操作する中で、利用満足度を計るためのアンケートの実施ができること。またアンケートの結果について出力が可能であること。	要望			
25	申請書作成支援	データ出力	作成した申請書データのCSV出力が可能であること。	要望			
26	申請書作成支援	将来性	作成した申請書データを標準化対応後の住民記録システムに手入力以外の方法で入力可能とする発展性を持つこと。	将来性			

項番	業務	機能	機能説明	区分	対応可	対応不可	代替方法
27	申請書事前作成	基本	住民が自身のスマートフォンやパソコン、タブレット等の情報機器からアクセスし、申請書や届出書を電子的に作成できること。	必須			
28	申請書事前作成	基本	一般的なインターネットブラウザ(Edge、Google Chrome等)からアクセスできること。また、iOS、Andoroid OSの双方で動作すること。	必須			
29	申請書事前作成	基本	LINEアプリからアクセスでき、本市LINE公式アカウントから利用ができること。(画面遷移後の利用も含む) 今回の調達の範囲外とするが、オプション等により実現可能な場合は代替方法欄にかかる費用を記載願います。	要望			
30	申請書事前作成	入力	住民が自身のスマートフォンやパソコン、タブレット等の情報機器で申請書や届出書を電子的に作成する際に、マイナンバーカードを読み取ることで個人認証や入力の手間削減ができること。	要望			
31	申請書事前作成	入力	住民が自身のスマートフォンやパソコン、タブレット等の情報機器で申請書や届出書を電子的に作成する際に、マイナンバーカードや運転免許証がなくても手入力での申請データの作成ができること。	必須			
32	申請書事前作成	手続きガイド	住民が簡単な質問に回答することで、手続きに関する必要な案内を参照できること。	要望			
33	申請書事前作成	手続きガイド	質問の階層は3階層以上の設定が可能であり、必要な手続きを案内するために申請者の属性や状況の確認ができること。	要望			
34	申請書事前作成	手続きガイド	パソコンやタブレット等で本システムを利用し、職員が住民に手続きを案内することができること。	要望			
35	申請書事前作成	手続きガイド	導入負担の軽減のため、過去の導入実績に基づき設定されたテンプレート等を提供できること。	要望			
36	申請書事前作成	操作画面	システム画面上に表示される言語として、日本語に加えて英語を選択できること。	必須			
37	申請書事前作成	操作画面	日本語、英語に加えてその他の言語に対応が可能であること。	要望			
38	申請書事前作成	操作画面	住民が複数の申請書や届出書をを作成する場合であっても、住所・氏名・生年月日等重複する項目については、1度の入力で作成できること。	必須			
39	申請書事前作成	操作画面	日付の自動反映や郵便番号入力による住所番地の自動反映等の機能によって、利用者の入力の手間を削減する工夫がされていること。	要望			
40	申請書事前作成	操作画面	必要に応じて入力フォームごとに必須入力制御を設定することができること。(入力漏れ防止の仕組が実装されていること)	要望			
41	申請書事前作成	操作画面	必要に応じて入力項目にチェックデジットによる入力誤り防止制御を有すること。	要望			
42	申請書事前作成	申請書の出力	住民が自身のスマートフォンやパソコン、タブレット等の情報機器で電子的に作成された申請書をQRコードとして表示することができ、QRコードを読み込むと作成された申請書を紙で印刷することができること。	必須			
43	申請書事前作成	申請書の出力	申請書や届出書だけでなく、手続き案内や必要となる持ち物や場所を表示することができること。	要望			
44	申請書事前作成	申請書の出力	運用に合わせて、申請書や届出書の帳票や項目の印字位置の調整ができること。	必須			
45	申請書事前作成	集計機能	申請書の出力件数(システム利用件数)を測定するため、データの出力が可能であること。	必須			
46	申請書事前作成	集計機能	住民がシステムを操作する中で、利用満足度を計るためのアンケートの実施ができること。またアンケートの結果について出力が可能であること。	要望			
47	申請書事前作成	セキュリティ対策	住民が一連の申請書や届出書の作成処理が終了した後は、住民の個人情報を残さない処置がされること。	必須			
48	申請書事前作成	セキュリティ対策	QRコードが作成された場合には、セキュリティを担保するため、暗号化処理が施されていること。	必須			
49	申請書事前作成	セキュリティ対策	アクセスログの集計が可能であること。	要望			